



めぐろ区報

人口と世帯	
住民記録者数	276,264人
(うち外国人)	8,216人
男	130,596人
女	145,668人
世帯数	154,446世帯
29.9.1現在の住民記録による	

小学校から中学校への つながりをもった 特別支援教室

教育支援課特別支援教育係(☎5722-9322、FAX3715-6951)

区は、25年度から、都内の区市町村に先駆けて、すべての区立小学校に特別支援教室を設置し、通常の学級に在籍する、知的発達に遅れない発達障害などの児童(自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害に該当または疑いのある児童)に対して、きめ細かい指導を行っています。

特別支援教室の拠点校の巡回指導教員が、各小学校の特別支援教室を毎週定期的に回り、在籍学級での児童の様子を見たり、担任と連携したりしながら指導を行っています。これにより、特別支援教室での指導が在籍学級でも生かされ、通常の学級での困難さを、より軽減できるようになりました。

28年10月以降、すべての区立中学校にも、都内の区市町村に先駆けて、特別支援教室を設置し、中学校に進学してからも必要な指導を受けることができるようになりました。小学校で特別支援教室の指導を受けていた生徒は、中学校でもつながりをもった指導を継続して受けることが可能となっています。

小学校

特別支援教室

例えばこのような場合

友達と仲良くしたいのに、いつもケンカになっちゃうな

文章を読もうとしても、どこを読んでいたか分からなくなっちゃう

このような指導をしています

- 友達の気持ちを想像したり、友達の立場になって考えたりしてみましょう
- 1行分の穴が開いた下敷きを使って、1行ずつ読む練習をしてみましょう

通常学級の教室

教科書がすらすら読めてうれしい

みんなと仲良く遊べて、学校が大好きになったよ

連携

特別支援教室は、通常学級での一人ひとりの困難さに応じて、在籍する学校内で指導を受ける場所です。児童・生徒は、ほとんどの時間を、通常学級で学習しています。

中学校

特別支援教室

例えばこのような場合

連絡事項をすぐに忘れてしまって、忘れ物ばかりだな

計算は得意だけど、漢字は頑張っても覚えられないな

このような指導をしています

- 出来事を思い出して発表することや、効果的にメモを取る練習をしましょう
- 耳から聞いた方が分かりやすい場合は、語呂合わせで覚えてみましょう(「ウ」「ハム」「ココロ」で「窓」など)

通常学級の教室

テストや作文で、正しい漢字が書けるようになった

忘れ物が少なくなったよ

◆特別支援教育講演会

日時 11/18(土)13:30~15:30 (13:00開場)
 会場 総合庁舎本館2階大会議室
 内容 特別な支援が必要な子どもへの学校や家庭での支援について
 講師 国立特別支援教育総合研究所主任研究員 海津亜希子氏

対象 小・中学生や幼稚園・こども園・保育所などに通う子どもの保護者、特別支援教育に関心があるかた
 定員 160人(先着)※希望者は当日会場へ。保育希望者は11/10までに、教育支援課特別支援教育係(☎5722-9322、FAX3715-6951)へ